モリト株式会社

会社説明会

東証プライム　証券コード9837

2026年11月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

目　次

■　モリトってどんな会社？ …… p. 02

■　事業・商品紹介 …… p. 06

■　モリトのここがすごい！ …… p. 13

■　業績概要 …… p. 22

■　成長に期待！これからのモリト …… p. 27

■　株主の皆さまへの還元 …… p. 40

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトってどんな会社？

© 2026 MORITO CO.,LTD.

会社概要

モリト株式会社（東証P・証券コード：9837）

MORITO

あたりまえに、新しさ。

1908年 大阪で創業
日常生活に欠かせない
小さなパーツをグローバルに展開

経済的ショックの時も
赤字にならなかった安定した業績

アパレル・スポーツ・
自動車向けなど、
様々な市場での販売網

ハトメ・ホック、
マジックテープ®など、
国内・世界でのトップシェア多数

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトの役割

**「つなぐ・留める・飾る」をコンセプトに、製造機能も併せ持つメーカー的商社。
洋服をはじめバッグや靴、自動車など、あらゆる業界向けに様々なパーツの
企画開発・製造・調達・販売・顧客の生産フォローまでを一貫して行う。**

主力商品



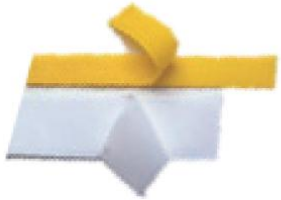
ハトメ
※ハトメ:靴・衣類などに紐を通す穴に
取り付ける環状の金具



靴ひも



ホック



マジックテープ®



アパレル関連事業



プロダクト関連事業



輸送関連事業

© 2026 MORITO CO.,LTD.

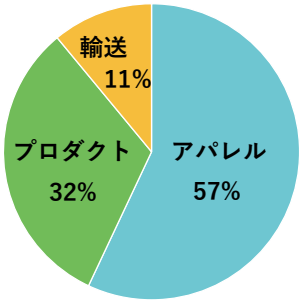
数字でみるモリト

＜2025年11月期＞
売上高　568億円
営業利益　33億円
純利益　29億円

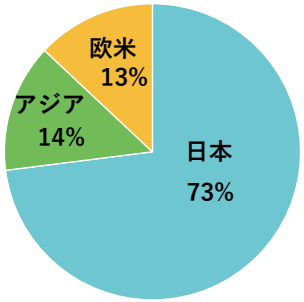
＜株主還元＞
FY2027より累進配当・DOE5%
予想配当利回り4.0%※
（5月・11月：配当の権利確定月）

※予想配当利回りは2026年10月の終値（1,811円）で算出

事業別売上高構成
アパレル・プロダクト・輸送



地域別売上高構成
アパレル・プロダクト・輸送



（2025年11月期）

© 2026 MORITO CO.,LTD.

事業・商品紹介

© 2026 MORITO CO.,LTD.

アパレル関連事業

国内外の有名アパレルブランド向けに商品を多数販売。
国内有名アパレルブランドの1つでは、ほぼ100%モリトのホックを採用。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

アパレル関連事業　ワーキング・スポーツ

機能性・安全性に優れたものなど、高付加価値商品が強み。ファッション業界だけでなく、
ワーキングウェア・メディカルウェア・スポーツ・アウトドア業界向けの商品も多数。

→海外製を中心とした低価格商品との差別化

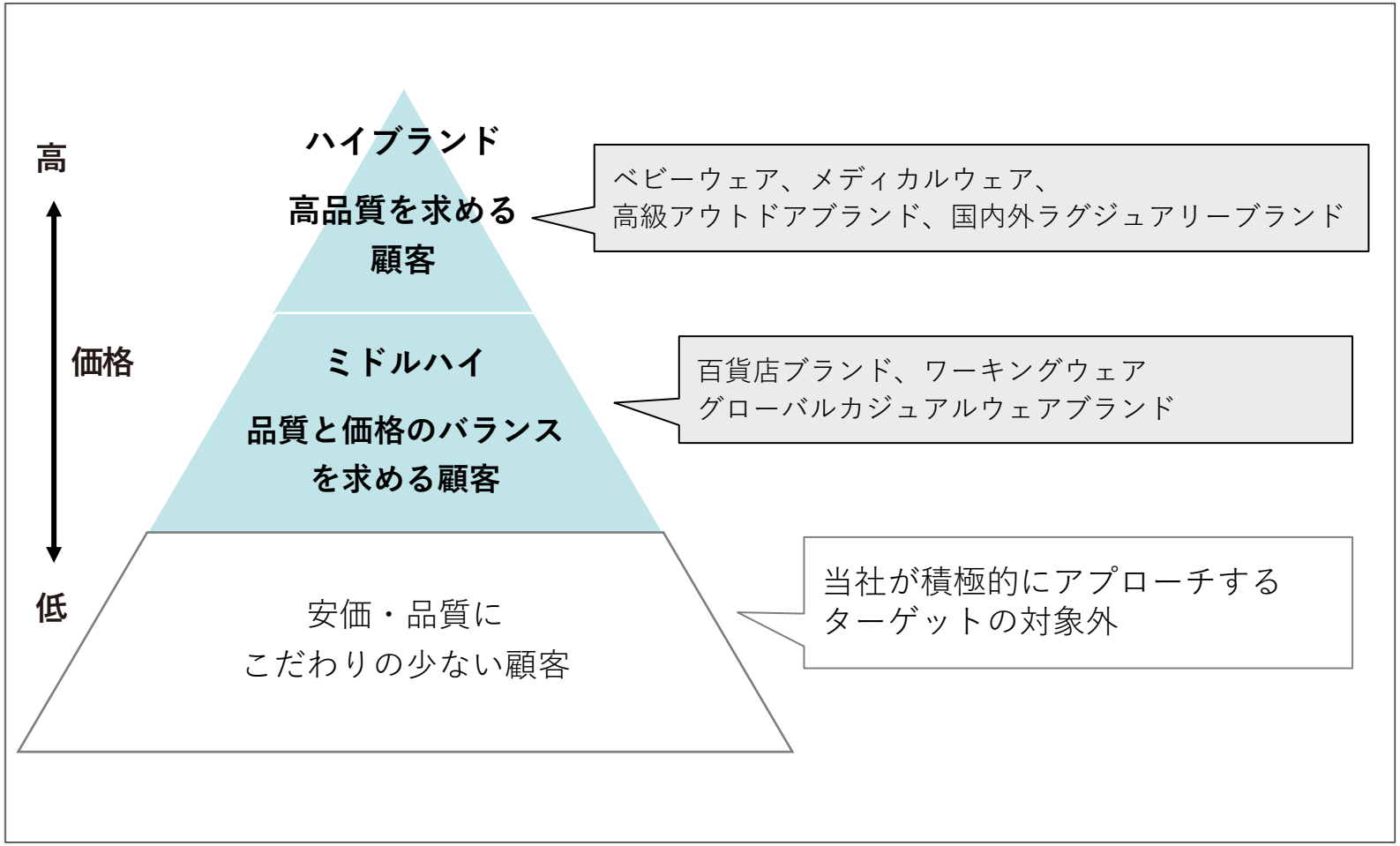





© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトのターゲット

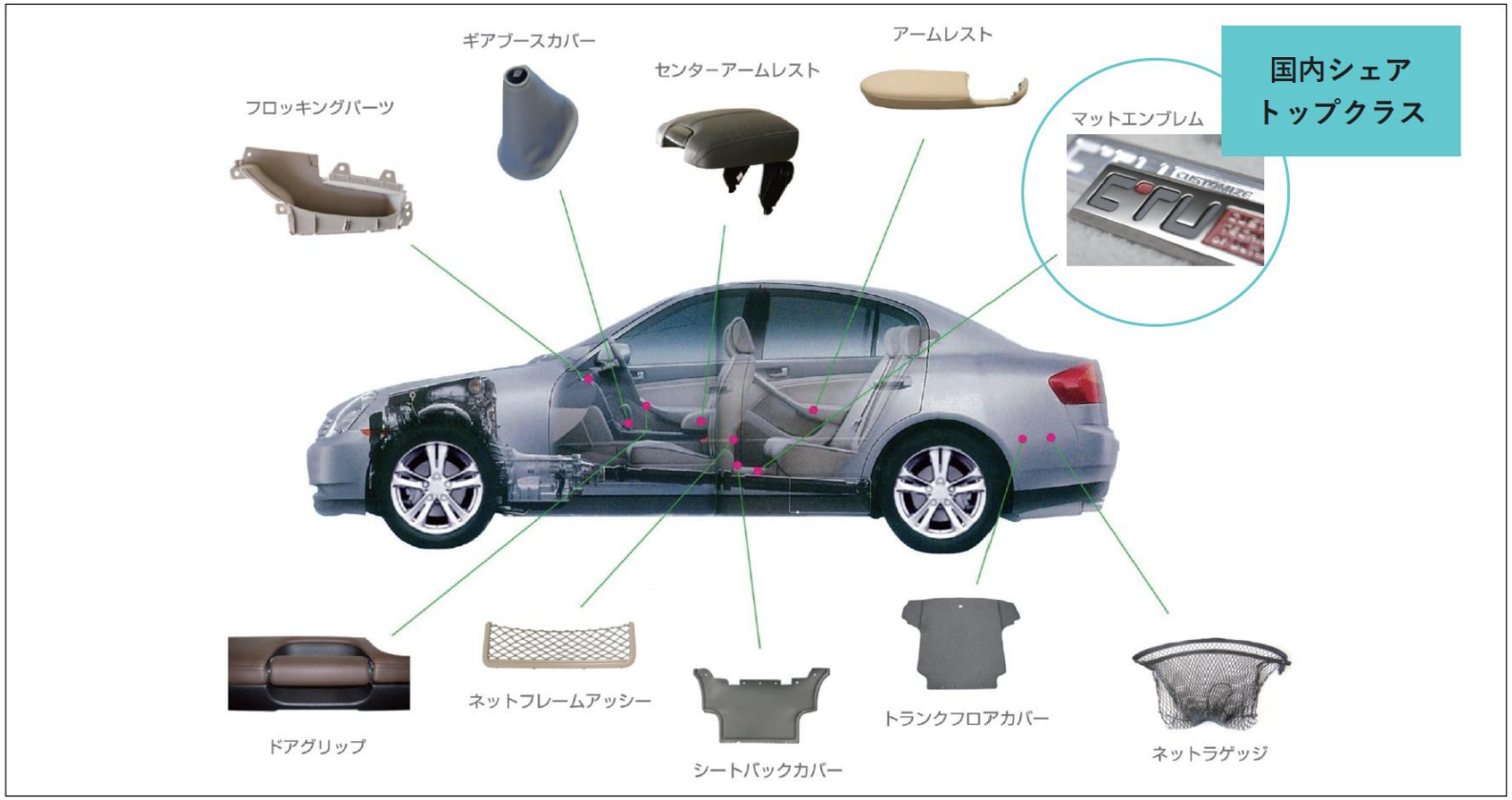
価格競争になりうる領域は避け、ミドルハイ以上の品質を求める顧客が当社ターゲット。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

輸送関連事業

**カーマットにハトメが使用されたことが始まりで、国内自動車メーカー向けを中心に
自動車内装部品を取り扱う。カーマットに付くメタルエンブレムは国内シェアトップクラス。
内装部品を扱うため、EVへ移行しても需要が見込まれる。**

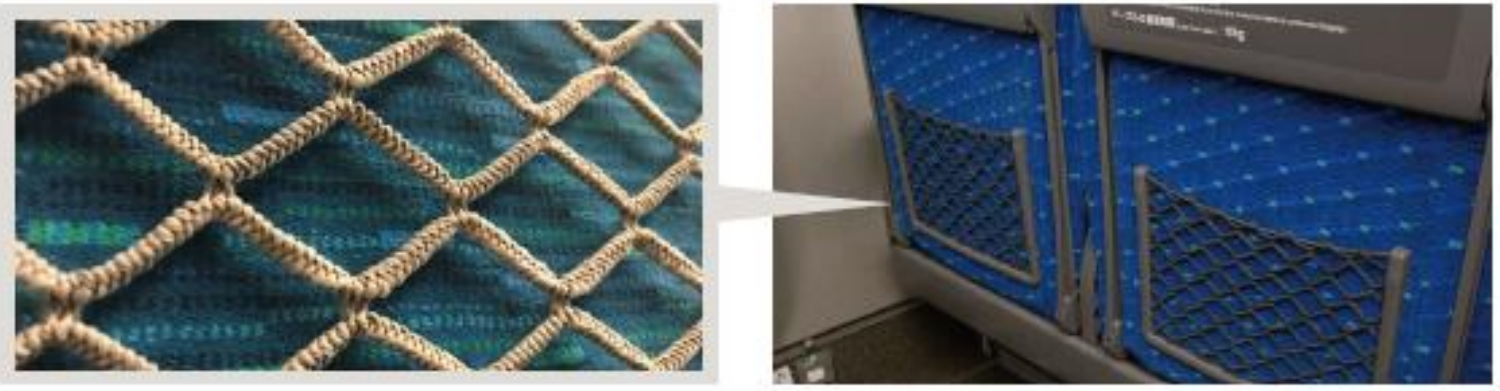


© 2026 MORITO CO.,LTD.

輸送関連事業　新幹線

新幹線の座席前についているネット状のポケットもモリトグループの商品。
結び目のない特殊な製法で作られているため、物の出し入れはスムーズに行える
ストレスフリーな商品。

（拡大）



© 2026 MORITO CO.,LTD.

プロダクト関連事業

機能・耐久性・企画力が評価され、ランドセルメーカー向けのパーツの販売、シューケア商品・サポーター・防水素材バッグの自社ブランド商品を販売。
五輪競技であるサーフィン・スケートボード・スノーボード関連商品の輸入販売も。



ランドセル



防水素材バッグ ZAT®



CHANNEL ISLANDS®



NITRO®



インソール･防水スプレー



自社ブランド サポーター



グリスフィルター



SHAKE JUNT®

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトのここがすごい！

© 2026 MORITO CO.,LTD.

モリトの強み

流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

＋

ポートフォリオが分散して安定した業績

＋

製造・調達・販売をグローバルに展開

＋

ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア

↓

グローバルニッチトップ

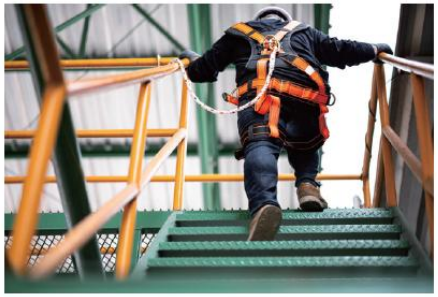
© 2026 MORITO CO.,LTD.

流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。官公庁向けの商品などもあり。



ベビーウェア



ワーキングウェア・ハーネス



ランドセル

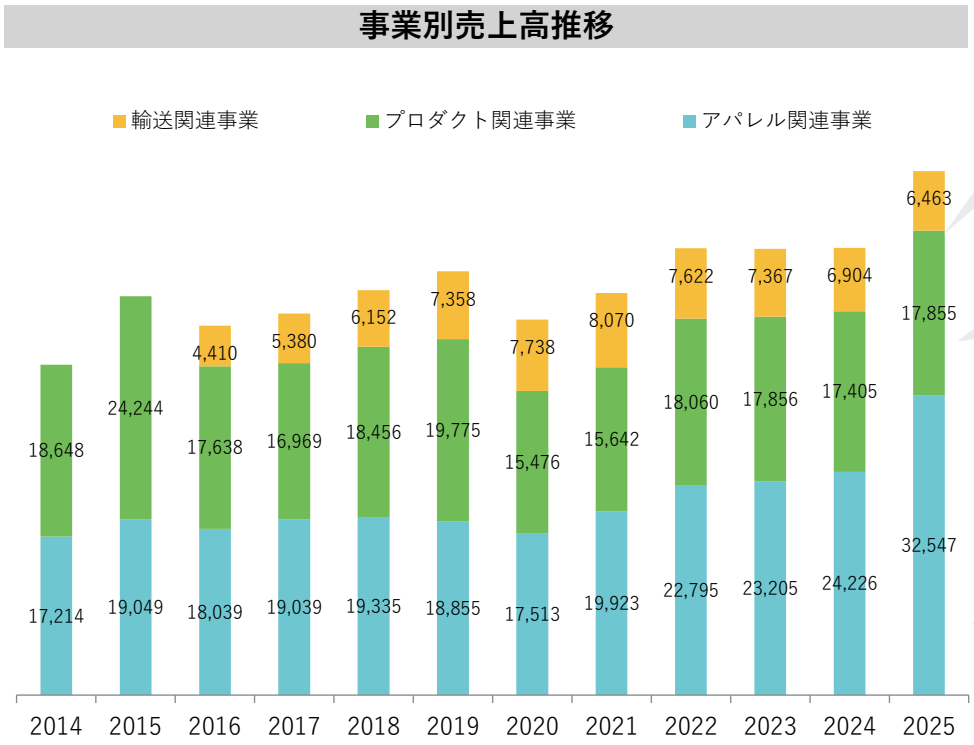


インソール

© 2026 MORITO CO.,LTD.

ポートフォリオが分散して安定した業績

1 3つの事業、多様な業界向けの商品でポートフォリオが分散
→特定の事業・顧客・商品の実績に左右されない



輸送関連事業
・自動車内装部品
・鉄道内装部品
・航空機内装部品　　など

プロダクト関連事業
・教具・文具
・スケボー・サーフィン
・シューケア商品　　など

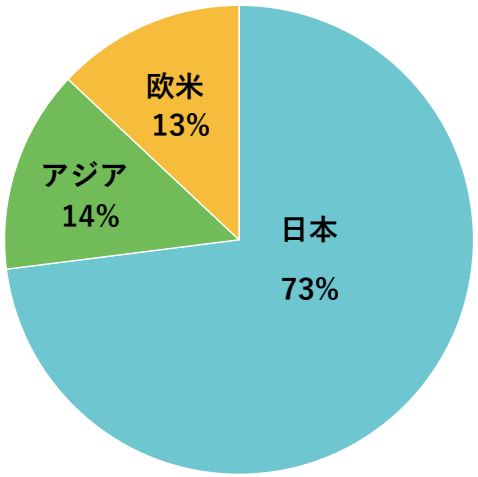
アパレル関連事業
・ファッション
・スポーツ
・ワーキング　　など

© 2026 MORITO CO.,LTD.

ポートフォリオが分散して安定した業績

2 ワールドワイドに事業を展開し、輸出入の両方を手掛ける→為替・地政学リスクへのヘッジ

地域別売上高



（2025年11月期）

輸出入の割合

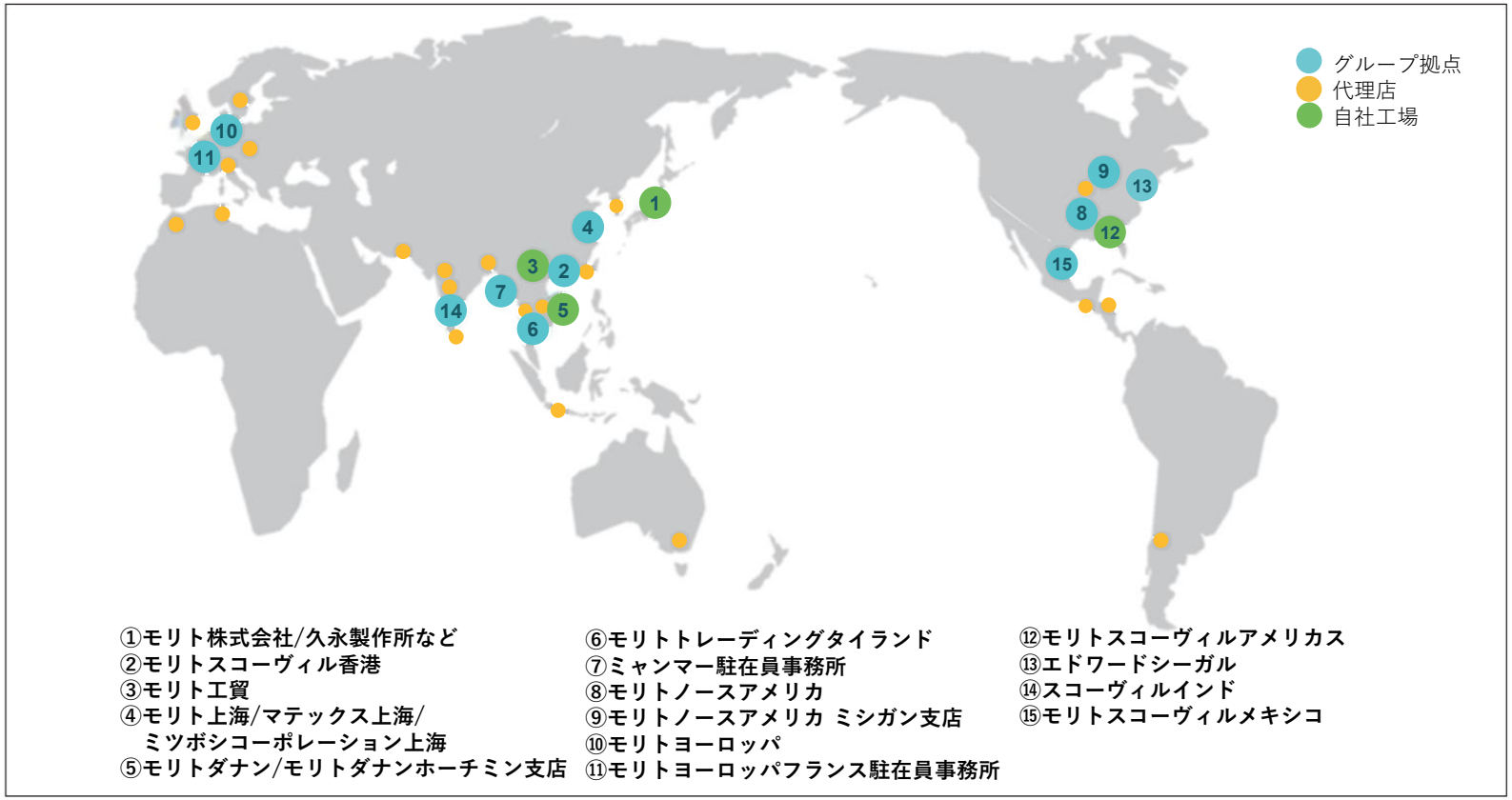
輸入 ： 輸出

＝約 6 ： 4

© 2026 MORITO CO.,LTD.

製造・調達・販売をグローバルに展開

製造・調達・販売網が世界各地に広がる。
協力工場・代理店も世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

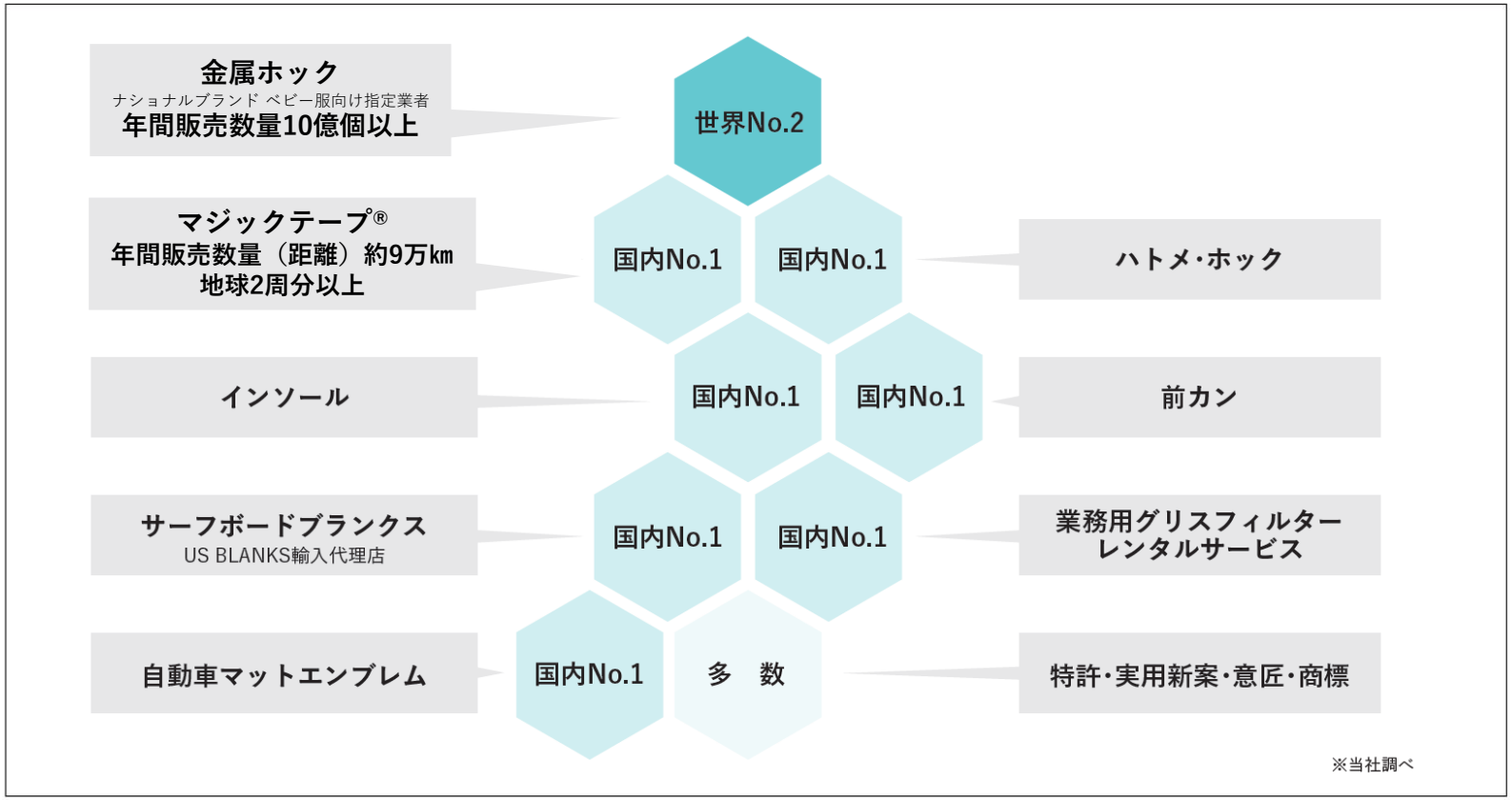


①モリト株式会社/久永製作所など
②モリトスコーヴィル香港
③モリト工貿
④モリト上海/マテックス上海/
ミツボシコーポレーション上海
⑤モリトダナン/モリトダナンホーチミン支店
⑥モリトトレーディングタイランド
⑦ミャンマー駐在員事務所
⑧モリトノースアメリカ
⑨モリトノースアメリカ ミシガン支店
⑩モリトヨーロッパ
⑪モリトヨーロッパフランス駐在員事務所
⑫モリトスコーヴィルアメリカス
⑬エドワードシーガル
⑭スコーヴィルインド
⑮モリトスコーヴィルメキシコ

© 2026 MORITO CO.,LTD.

ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア

**ニッチでありながら、日常生活に欠かせないパーツのシェアを国内外で獲得。
特に国内アパレル業界では、圧倒的な認知度とブランドを確立し、アパレルブランドにとって「パーツに困ったら、まずモリトに相談しよう」という便利屋的な存在。**



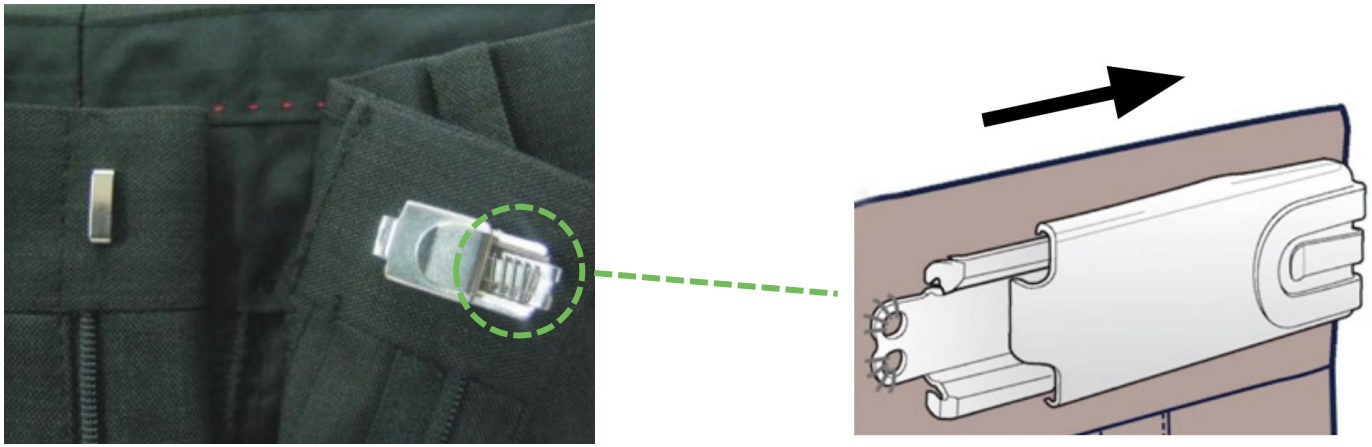
© 2026 MORITO CO.,LTD.

なぜ高シェアなの？　①機能性・デザインなどを加えた高付加価値商品

顧客・消費者ニーズを叶える付加価値を加えたオリジナル商品を独自に開発・
オーダーメイドを行い、高機能・高品質を求める顧客の採用を獲得。
一般的な機能のみの商品よりも利益率が高い。

商品名：らくらく感®

フォーマルウェア、ユニフォーム等のボトムスのファスナーの上に使われる「前カン」と
バネを組み合わせた商品。
食事後などウエストのサイズが変わると、バネの力で自然に伸縮し、圧迫感を軽減。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

なぜ高シェアなの？　②グローバル対応の品質管理・サポート体制

地域ごとに異なる品質基準に対応するため、全世界で販売可能な品質基準のパーツを取り扱い、
ベビー・ワーキング・メディカルなど高品質が求められる業界に強み。
グローバルで常に安定した品質管理を徹底。商品不良など万が一のトラブルには、
国内外の拠点スタッフが直接お客さまの工場に訪問し、サポート。



←縫製工場での様子

使用するホックの種類と取り付ける生地に
合わせて、機械をメンテナンスするなど、
顧客の生産サポートをモリトグループで実施。
海外の縫製工場でも同様に対応し、
商品不良を未然に防ぐ。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

業績概要

© 2026 MORITO CO.,LTD.

2025年11月期　通期業績サマリー

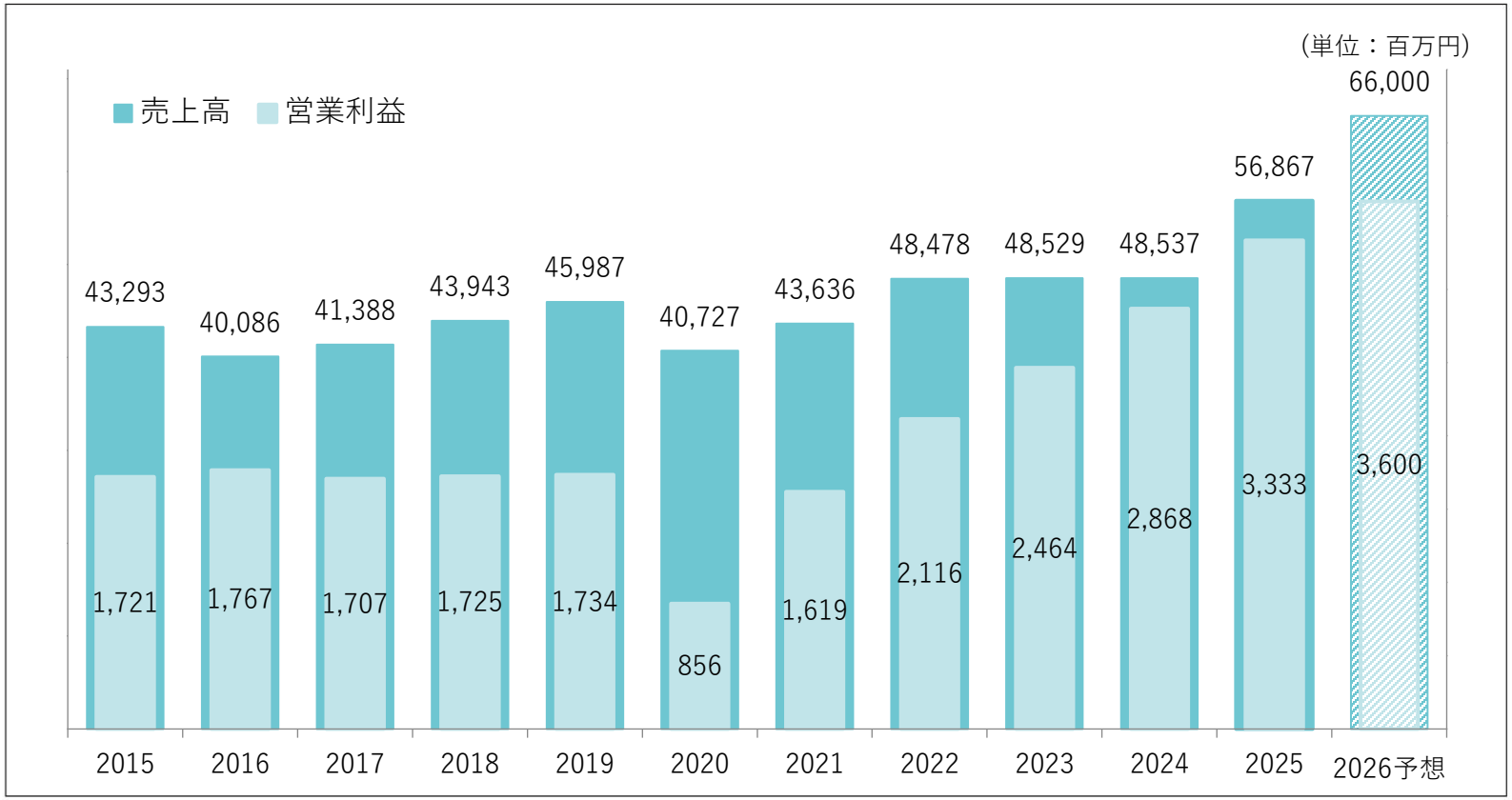
（百万円）	（参考）2023	2024	2025	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	48,529	48,537	**56,867**	+8,330	+17.2%
売上総利益	13,265	14,138	**17,387**	+3,249	+23.0%
（%）	(27.3%)	(29.1%)	**(30.6%)**		
経費	10,801	11,269	**14,053**	+2,784	+24.7%
（%）	(22.3%)	(23.2%)	**(24.7%)**		
営業利益	2,464	2,868	**3,333**	+464	+16.2%
（%）	(5.1%)	(5.9%)	**(5.9%)**		
経常利益	2,771	3,003	**3,624**	+621	+20.7%
（%）	(5.7%)	(6.2%)	**(6.4%)**		
当期純利益	2,217	2,572	**2,916**	+344	+13.4%
（%）	(4.6%)	(5.3%)	**(5.1%)**		

※2025年11月期実績には、Ms.IDの9か月分、ミツボシコーポレーションの6か月分の実績を含む

© 2026 MORITO CO.,LTD.

連結売上高と営業利益の10年の推移

3期連続で売上高・営業利益が過去最高を更新。（2023年～2025年11月期）
2026年11月期も売上高・営業利益ともに過去最高を狙う。

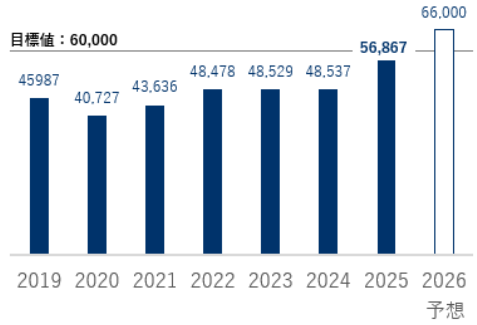


© 2026 MORITO CO.,LTD.

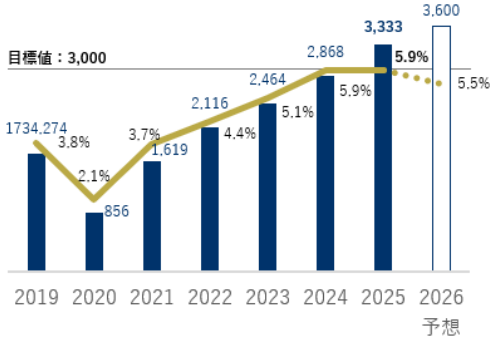
主な経営指標

第8次中期経営計画（2022年~2026年11月期）での構造改革・収益性の意識改革が功を奏し、利益率やROEが改善。株主還元も積極的に実施。

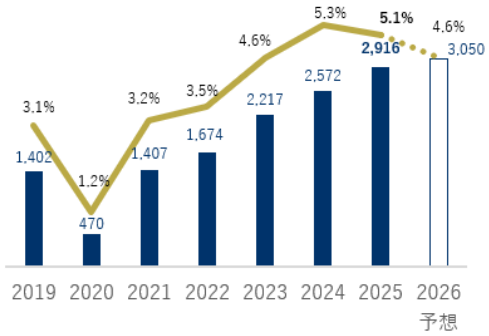
売上高（百万円）



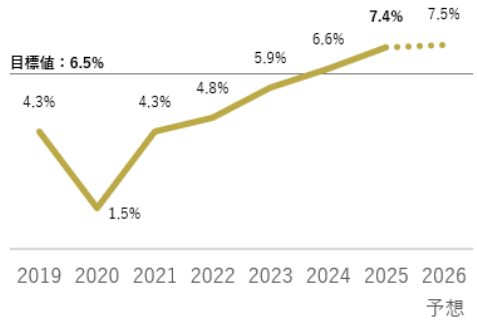
営業利益・営業利益率（百万円）



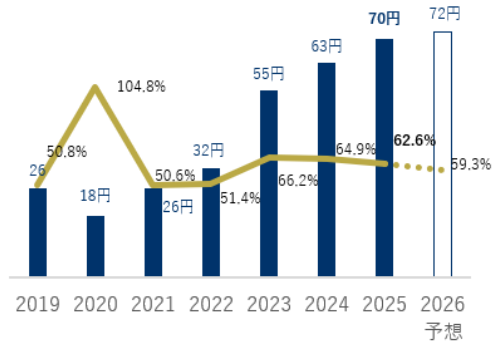
当期純利益・当期純利益率（百万円）



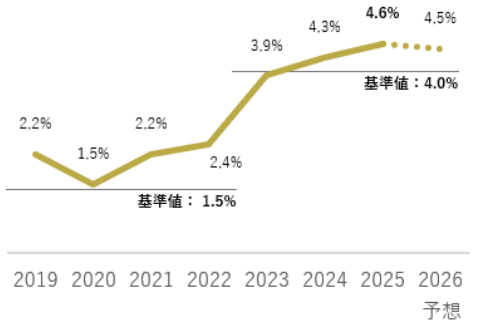
ROE



年間配当金・配当性向



DOE



© 2026 MORITO CO.,LTD.

2026年11月期3Q　連結貸借対照表

自己資本比率は7割を超え、健全な財務状況。（2026年11月期3Q： 71.8%）

（単位：百万円）

	2025.4Q	2026.3Q
資産の部		
流動資産	31,001	29,913 (- 1,087)
固定資産	24,497	26,379 (+1,881)
資産合計	55,498	56,292 (+793)

	2025.4Q	2026.3Q
負債の部		
流動負債	10,217	10,348 (+130)
固定負債	5,448	5,540 (+91)
負債合計	15,666	15,889 (+222)
純資産の部		
株主資本	33,221	32,185 (- 1,036)
その他の包括利益累計額	6,610	8,217 (+1,607)
純資産合計	39,832	40,403 (+570)
負債純資産合計	55,498	56,292 (+793)

自己資本比率　2026/11期 3Q：71.8%
（2025/11期 ：71.8%）

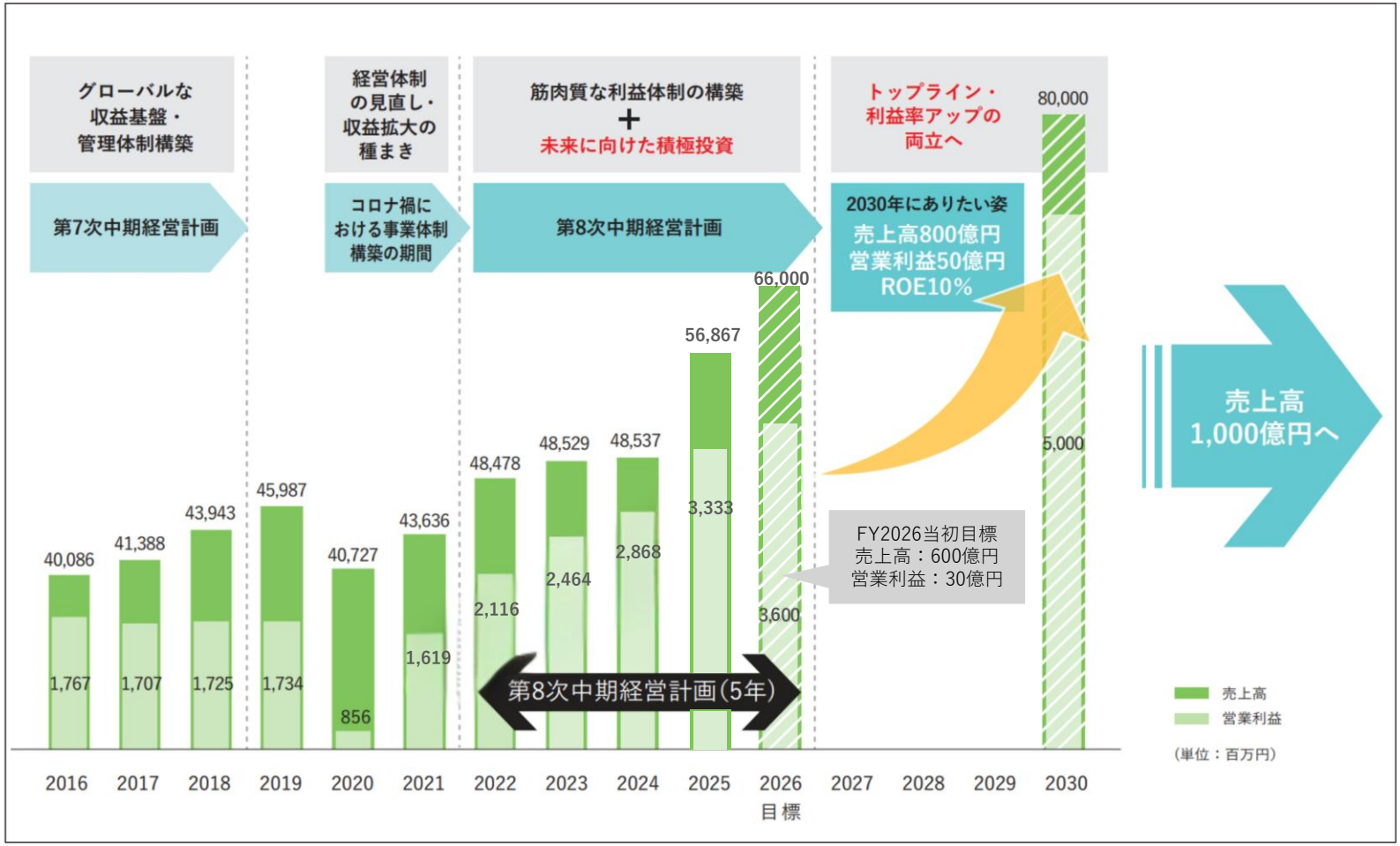
© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長に期待! これからのモリト

© 2026 MORITO CO.,LTD.

第8次中期経営計画（2022年11月期~2026年11月期）

構造改革が功を奏し、営業利益目標30億円は前倒しで達成済。売上高も当初目標を超える予想。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

2027年～2031年11月期 新中期経営計画「ACTION 1000」の策定

ACTION 1000

▶新中期経営計画の詳細はこちら

「ACTION 1000」には、売上高1,000億円とROE12%の実現を目指すとともに、
“挑戦し続ける意思”と“変革への覚悟”を込めています。

2031年11月期目標

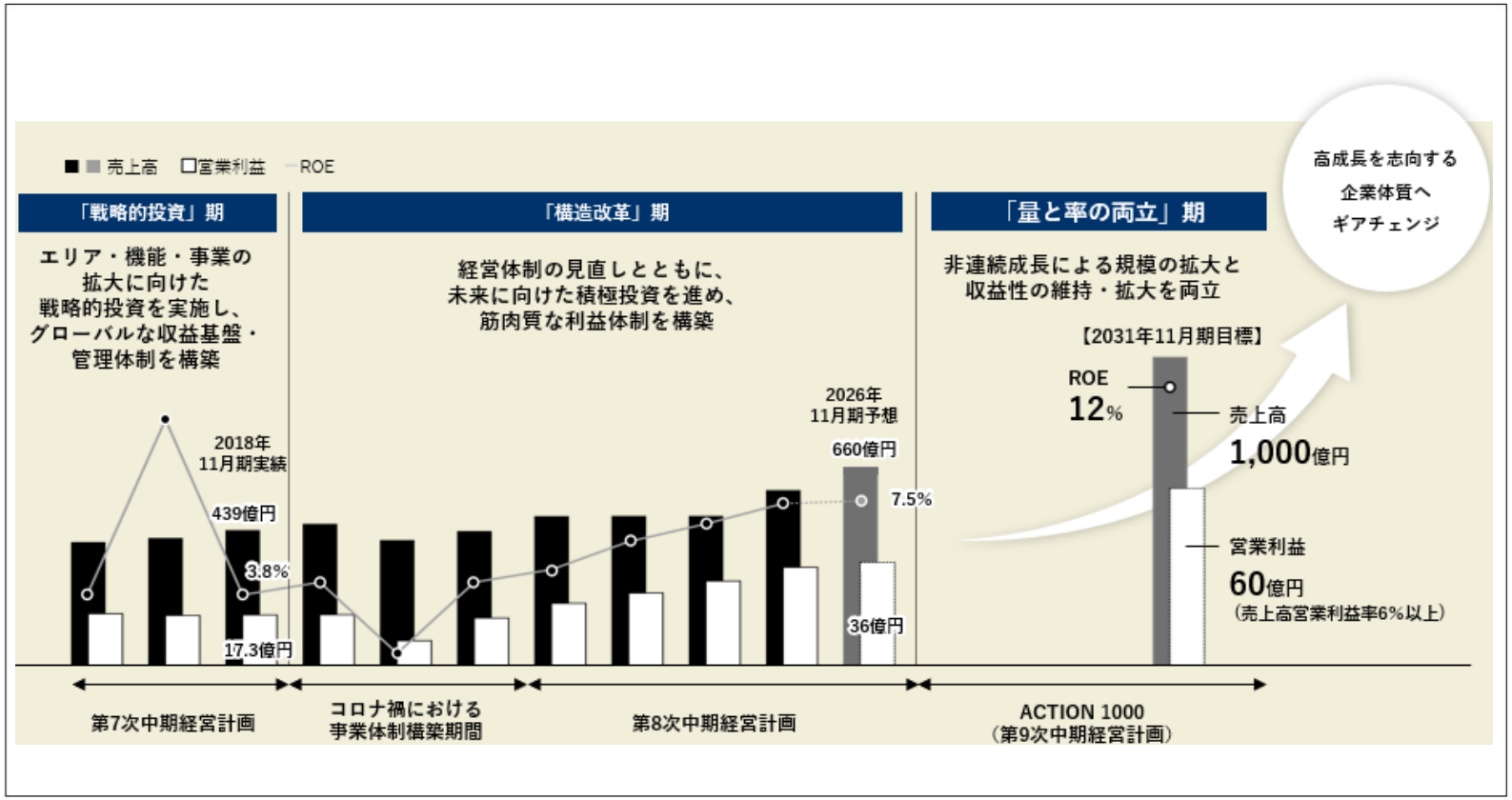
売上高	営業利益	ROE
1,000億円	60億円	12%

連結自己資本配当率（DOE）	ROIC
6% 目標	8%

© 2026 MORITO CO.,LTD.

「ACTION 1000」の位置付け

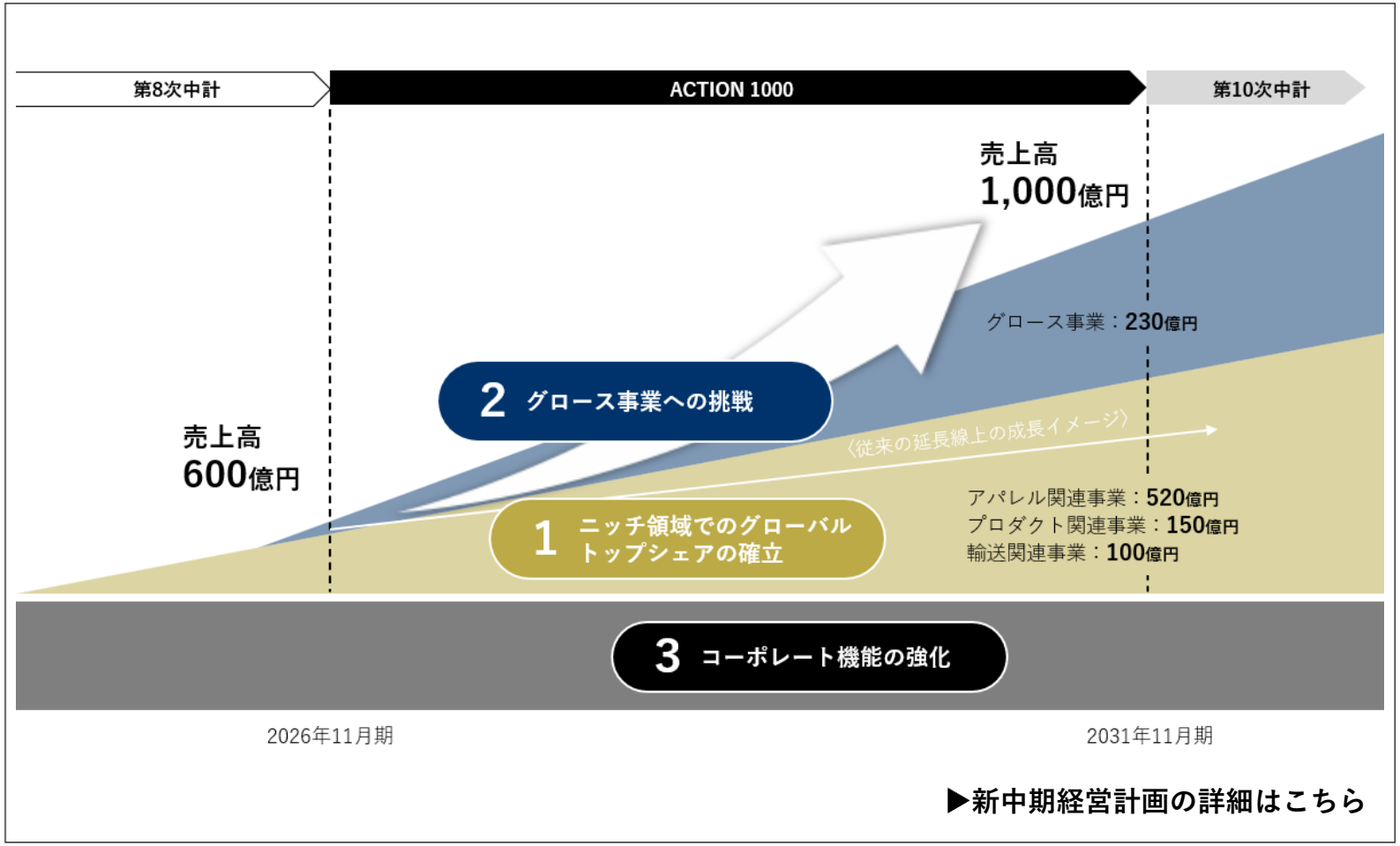
第8次中計は収益の改善に集中し、粗利率・営業CFなどが改善し、営業利益目標を前倒しで達成。第9次中計では、積極的な投資を通じて、規模の拡大に注力することで「量と率の両立」を実現し、新たな成長を追求する段階へ移行する。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

新中期経営計画「ACTION 1000」の成長ドライバー

グローバルトップシェアの確立・グロース事業への挑戦を中心に、売上高1,000億円へ。

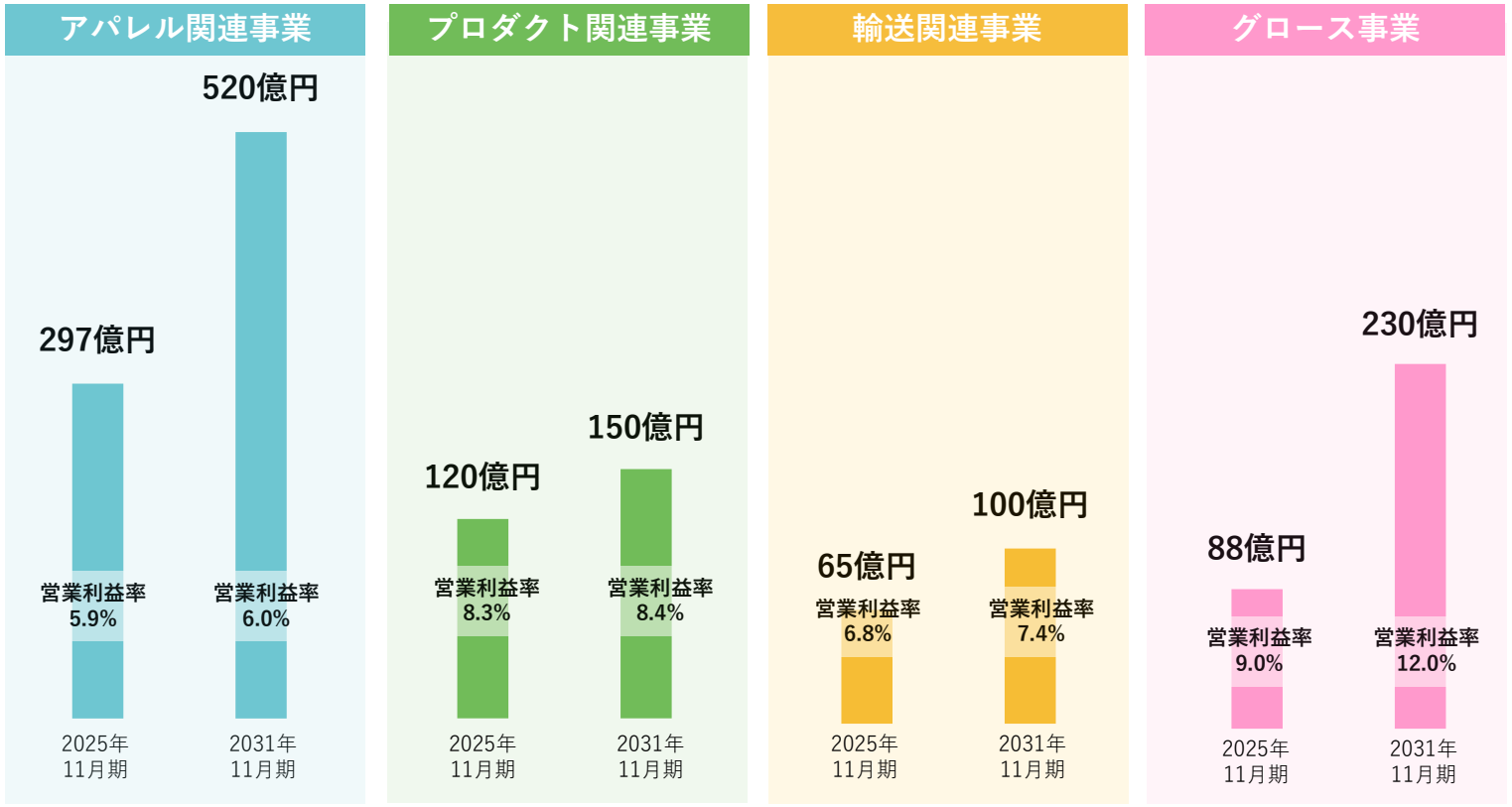


▶新中期経営計画の詳細はこちら

© 2026 MORITO CO.,LTD.

新中期経営計画　事業別業績目標

既存事業は売上拡大に注力、グロース事業はM&Aも含めた積極投資により更なる拡大へ。

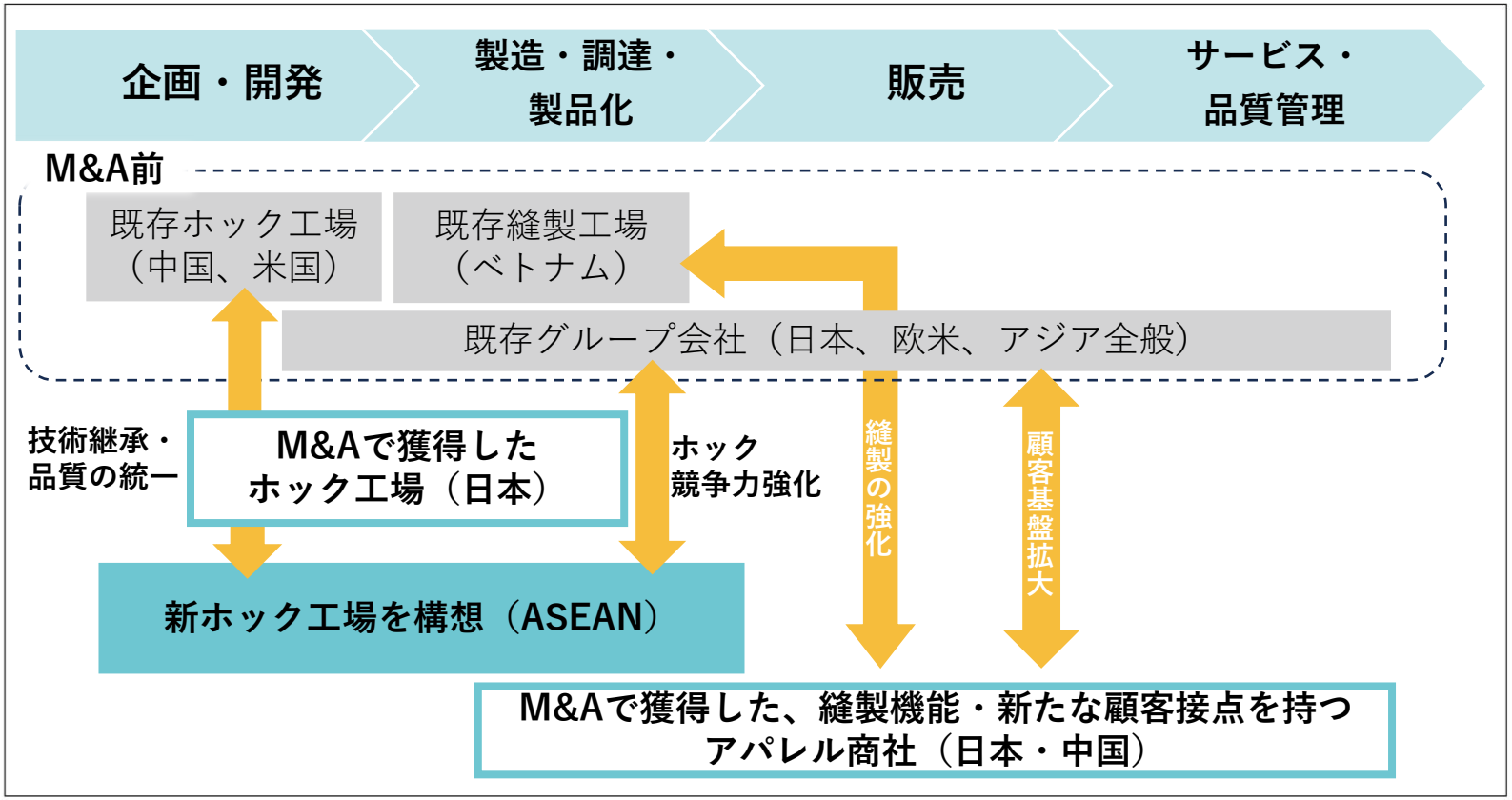


※管理会計上の連結消去数値を使用しているため、法定開示資料等とは差異が生じる場合があります。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー①ニッチ領域でのグローバルトップシェアへの確立
アパレル関連事業

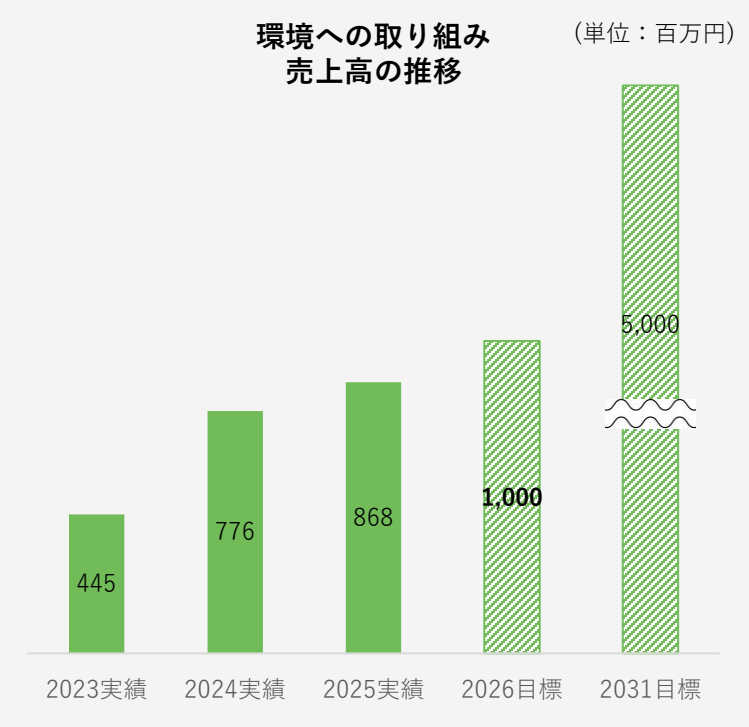
M&Aで取得した高度な技術を持つホック工場とアパレル商社を活用し、ホック生産から縫製までの提案力を強化し、顧客基盤を拡大するとともに、アパレル生産が拡大するASEAN市場を中心に成長を目指す。



© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー①ニッチ領域でのグローバルトップシェアへの確立
アパレル関連事業　環境への取り組み Rideeco®（リデコ）

Rideeco®（リデコ）は、2021年より開始したモリトグループの環境配慮型の商品開発等の取り組み。環境配慮への意識の高いアパレルブランド向けを中心に、環境への取り組みに関連する販売で、2031年11月期までに売上高50億円を目指す。



FY2025　MURON®（ミューロン）採用実績



「HELLY HANSEN×agnès b.」コラボレーションの一部のアイテム



「HELLY HANSEN」の2025春夏シーズンの一部商品に採用



大阪万博NTTパビリオンのバケットハット・バッグに採用

© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー② グロース事業への挑戦
事業ドメインの変更・グロース事業の新設（2027年11月期～）

BtoC事業や空間環境サービスインフラ事業、フロンティアスポーツ事業の3つの事業を、グロース事業と位置づけ、新たな柱になり得る事業を既存事業とは分けてマネジメントすることで成長を加速させていく。

アパレル関連事業	プロダクト関連事業	輸送関連事業	グロース事業
モリトアパレル	モリトジャパン	モリトオートパーツ	・BtoC事業 ・空間環境サービスインフラ事業 ・フロンティアスポーツ事業
マテックス			
ミツボシコーポレーション	エース工機		エース工機
	マニューバーライン		マニューバーライン
Ms. ID			Ms. ID
久永製作所			

※図は日本セグメントのみ抜粋



空間環境サービスインフラ事業*1

エース工機 業務用グリスフィルターのレンタル事業／
エアコン、厨房排気系統の清掃・工事／ 厨房排気脱臭機の販売



フロンティアスポーツ事業*1

マニューバーライン サーフィンなどのマリンスポーツ関連商品の販売／
スノーボード・スケートボード・アパレル関連商品などの販売／
新規スポーツ事業



BtoC事業*2

Ms.ID ECレディースアパレルブランド「SELECT MOCA」運営／
シルバーアクセサリーブランド「TEN.」運営／ECプラットフォーム事業

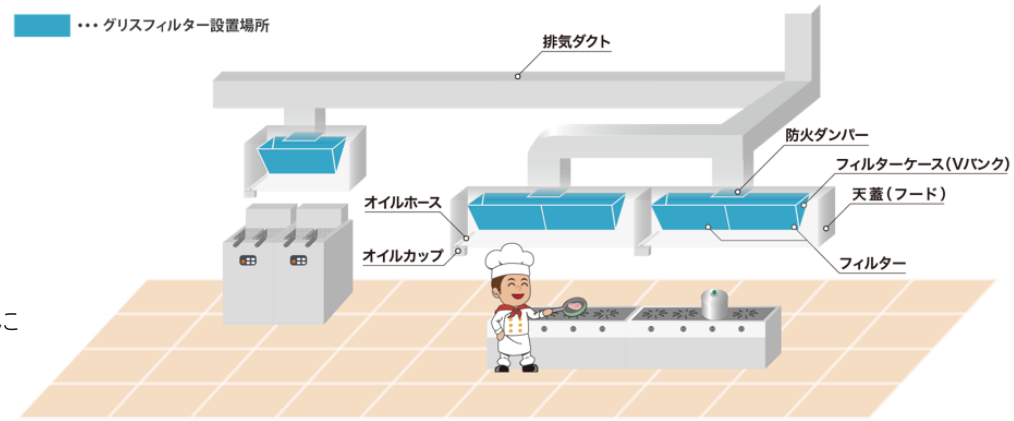
© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー② グロース事業への挑戦
グロース事業紹介　空間環境サービスインフラ事業

飲食店の厨房の換気扇に使われる、グリスフィルターのレンタルサービスを展開し、国内シェアトップクラス。
全国にフィルターの交換・配送・洗浄を実施。厨房の清掃事業も行い、施設内での快適環境の実現と、
火災リスクの軽減に寄与するとともに、飲食店の人材不足による市場ニーズも加速。



グリスフィルター
飲食店などの厨房の排気経路の入口部に
設置されるフィルター。
ダクトの油汚れを抑え、火災を抑制。







自社サービスセンター設備
飲食店・スーパー・コンビニ・食品工場
などでフィルターを交換し、
自社サービスセンターで洗浄。設備投資
により、洗浄は自動化を進める。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー② グロース事業への挑戦
グロース事業紹介　BtoC事業

EC販売ノウハウの強みを活かし、アパレルブランドを展開。特にシルバーアクセサリーブランドのTEN.が好調、店舗数・海外販売も拡大中。新ブランドの創出も視野に入れる。
グループ全体のBtoCブランドにEC販売ノウハウを取り入れることで、シナジー創出へ。

SELECT MOCA



EC専業で高い顧客認知を持つ
レディースアパレルブランド。
デザインと価格帯のバランスで
20～40歳前半と幅広い年齢層を
顧客に抱える。

TEN.



シンプルながら有機的なデザインと
高純度の銀素材で、
ファッション感度の高い顧客から
日常使いに人気を集める
アクセサリーブランド。

ECプラットフォーム事業

EC販売のノウハウを活かし、
他のブランドのEC販売の委託を受ける。

© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー② グロース事業への挑戦
グロース事業紹介　フロンティアスポーツ事業

スケートボード・サーフィン・スノーボードなどアクティブスポーツ関連商品の
輸入販売を行う。プロ選手愛用ブランドの取り扱いも多数。ピックルボールなど
新たなスポーツ市場の開拓も行う。

【取り扱い商品例】











© 2026 MORITO CO.,LTD.

成長ドライバー③　コーポレート機能の強化
M&A戦略 戦略的投資のためのM&A実行規律

実行方針

1. 戦略領域の拡張・成長加速のための手段としてM&Aを積極的に実施

2. 安易な規模拡大ではなく、重点成長領域の獲得や人材・顧客基盤の獲得を最優先に検討

戦略規律

- 各事業における戦略との適合性
- 成長性や競争優位性を強化できる経営資源の獲得可能性
- PMI実行力の蓋然性

投資・財務規律

- EV/EBITDAマルチプル4～6倍（最大8倍）を目安
- のれん償却後の営業損益が初年度から黒字
- ROIC ＞ WACC（＝6～8.5%）を充足

レッドライン方針（実施しない基準の明確化）

戦略面

- 戦略・重点領域と整合しない案件
- キーパーソンの継続コミットがない案件
- PMI負荷が過大で他施策を阻害し得る案件

投資・財務面

- 回収期間が10年を超える等長期化リスクのある案件
- のれん償却後の営業赤字が続く見込みの案件

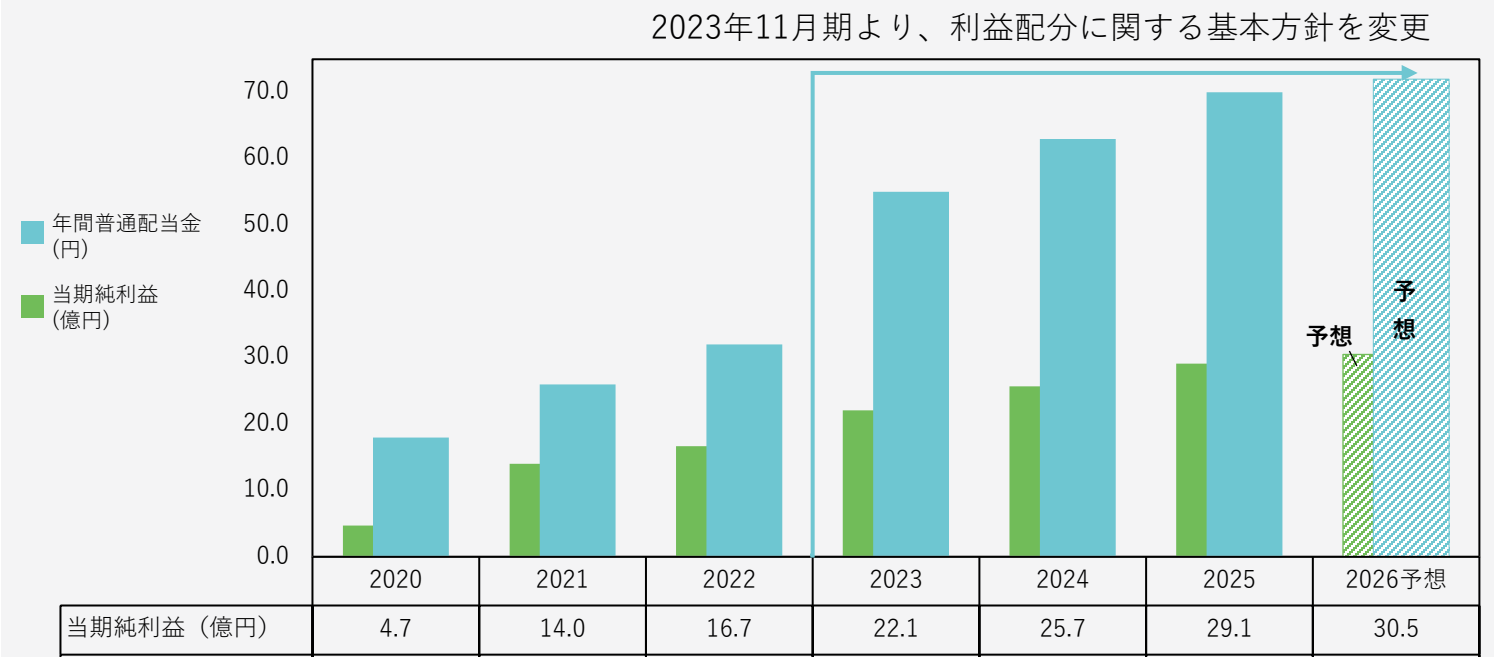
© 2026 MORITO CO.,LTD.

株主の皆さまへの還元

© 2026 MORITO CO.,LTD.

配当金・配当性向・DOEの推移

2020年11月期から6期連続で増配、年間配当は前期比＋2円の72円を予想。



	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026予想
当期純利益（億円）	4.7	14.0	16.7	22.1	25.7	29.1	30.5
年間配当（円／株）	18.0	26.0	32.0	55.0	63.0	70.0	72.0
中間配当（円／株）	13.25	9.0	13.5	27.0	29.0	33.0	36.0
期末配当（円／株）	4.75	17.0	18.5	28.0	34.0	37.0	36.0
配当性向（%）	104.8	50.6	51.4	66.2	64.9	62.6	59.3
DOE（%）	1.5	2.2	2.4	3.9	4.3	4.6	4.5

© 2026 MORITO CO.,LTD.

利益配分に関する基本方針の変更(2027年11月期~)

新中計の資本政策の一環として、利益配分に関する基本方針の変更を決定。

従来
- **安定的かつ継続的配当の実現**
- **DOE 4.0%基準**
- **配当性向は50%以上を基準**

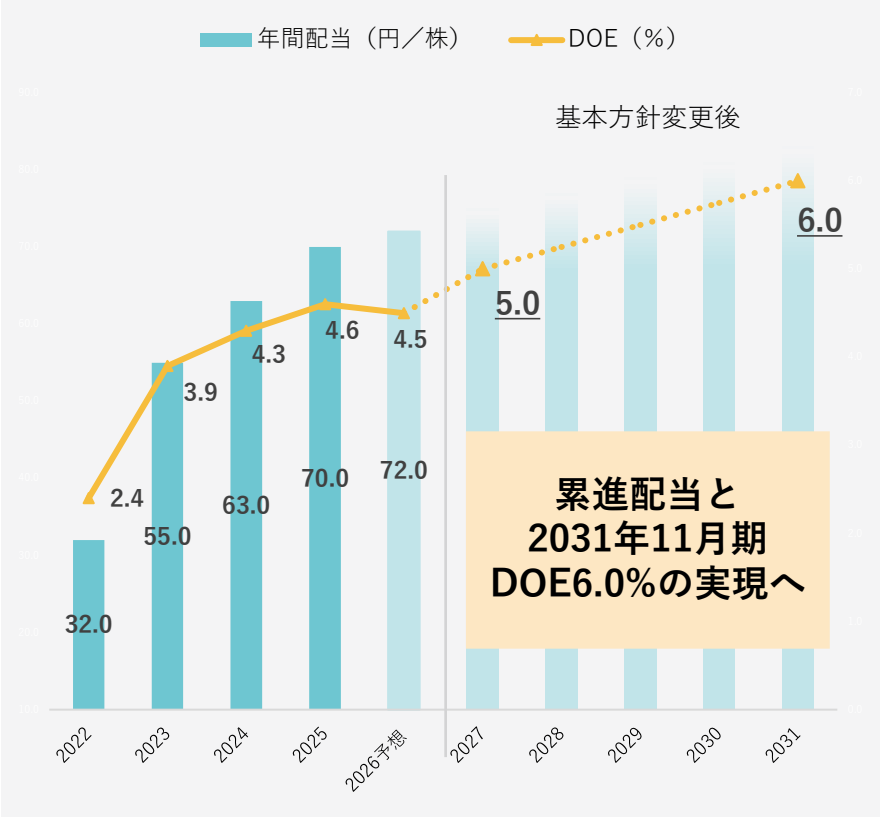
＋機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

2027年11月期以降

- **安定的かつ継続的配当、累進配当の実現**
- **DOE 5.0%基準**
  2031年11月期にはDOE6.0%を目標
- **配当性向は50%以上を基準**

＋機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※特別な損益等の特殊要因により、税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度につきましては、その影響を考慮し配当額を決定いたします。



※2027年11月期以降の年間配当金・DOEの推移はイメージであり、実際の数字を示すものではありません

© 2026 MORITO CO.,LTD.

まとめ

✓生活に欠かせないパーツ

✓ グローバルニッチトップ

✓安定した業績と財務状況

✓高配当利回り・累進配当

モリトの株式情報

会社名	**モリト株式会社**	証券コード	**9837**
株式上場	**東証プライム市場**	単元株数	**100株**
決算期	**11月末**	配当	**年2回**

© 2026 MORITO CO.,LTD.

本資料のお取扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先　　〒541-0054　大阪市中央区南本町4-2-4
モリト株式会社　IR・広報部　　E-mail：ir@morito.co.jp

© 2026 MORITO CO.,LTD.

MORITO

あたりまえに、新しさ。

© 2026 MORITO CO.,LTD.